

各関係機関長 様

兵庫県病害虫防除所長

病害虫発生予察防除情報 第 2 号を發表しました。

特に、葉いもちの発生が多い地域では、穂いもち防除の徹底をご指導願います。

平成 26 年度 病害虫発生予察防除情報 第 2 号 いもち病（穂いもち）の防除対策について

1 対象作物 水稻（ヒノヒカリ、山田錦 等）

2 病害虫名 いもち病（穂いもち）

3 発生地域 普通期栽培

4 発生程度 平年並

5 発生状況について

- (1) 8 月中旬から下旬にかけて曇りや雨が多く、平年の約 30% の日照時間で経過しており、水稻のいもち病に対する感受性が高まっていると考えられる。現時点のいもち病の発生は平年並であるが、今後の天候によっては、急激な穂いもちの発生が予想される。出穂が遅い品種（ヒノヒカリ、山田錦 等）では、特に注意が必要である。
- (2) 箱施用剤を施用したほ場においても、施用後 2 か月以上経過し、防除効果が減退していると考えられる。特に、葉いもちが多発したほ場では、出穂前後の防除が必要である。

6 防除対策について

- (1) 治療効果の高い薬剤であるフェリムゾン・フサライド剤（商品名 ブラシン粉剤 DL 等）、トリシクラゾール・フェリムゾン剤（商品名 ノンブラス粉剤 DL 等）で防除を徹底すること。
- (2) 特に、葉いもちの発生が多く、上位葉に病斑が見られる場合は、穂いもちの多発が懸念される。穂ばらみ期および穂揃期の 2 回防除を実施すること。
- (3) 穂いもち（穂首いもち、枝梗いもち）に罹病した穂は、稔実不良、白穂となることから注意が必要である。
- (4) 薬剤を散布する際は、使用時期（収穫前日数）や使用回数等の使用基準を遵守すること。
- (5) 薬剤については、兵庫県農薬情報システム等を参考に選定し農薬使用基準を守ること。

兵庫農薬情報システム (<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>)

この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載
(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/>)

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222